

**WARM**<sup>TM</sup>  
AUDIO

# WA-MPX & WA-2MPX

SINGLE & DUAL-CHANNEL TUBE MIC PREAMP

取扱説明書 Ver. 1.0

## WA-MPX



## WA-2MPX



株式会社 サウンドハウス  
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3  
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222  
<http://www.soundhouse.co.jp> [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)

## 安全上の注意

1. 本製品を操作する前に、安全および操作のすべての注意事項をお読みください。
2. 本マニュアルは将来の参照のために保管してください。
3. 装置およびマニュアルに記載されたすべての警告に従ってください。
4. 操作および使用の注意事項に従ってください。
5. 湿った地下室やプールの近くなど、水や湿気の近くで装置を使用しないでください。
6. 清掃の際は乾いた布を使用してください。
7. 換気口を塞がないでください。本マニュアルの指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、ヒーター、ストーブ、または他の発熱装置（アンプを含む）の近くに設置しないでください。
9. 電源プラグの極性または接地プラグを改造、変更しないでください。
10. 電源コードが踏まれたり、挟まれたりしないように保護してください。
11. 製造元が指定した付属品/アクセサリのみを使用してください。
12. 製造元が推奨したカート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルを使用してください。カートやラックを使用する場合は、転倒による怪我に注意してください。



13. 雷雨の間や長期間使用しない場合は、装置のプラグを抜いてください。
14. すべての修理は販売元に依頼してください。

装置が次のような損傷を受けた場合、修理が必要です。

電源コードやプラグが損傷した場合、液体がこぼれた場合、物が装置に落ちた場合、装置が雨や湿気にさらされた場合、正常に動作しない場合、または落下した場合。

## はじめに

この度は Warm Audio WA-MPX / WA-2MBPX をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

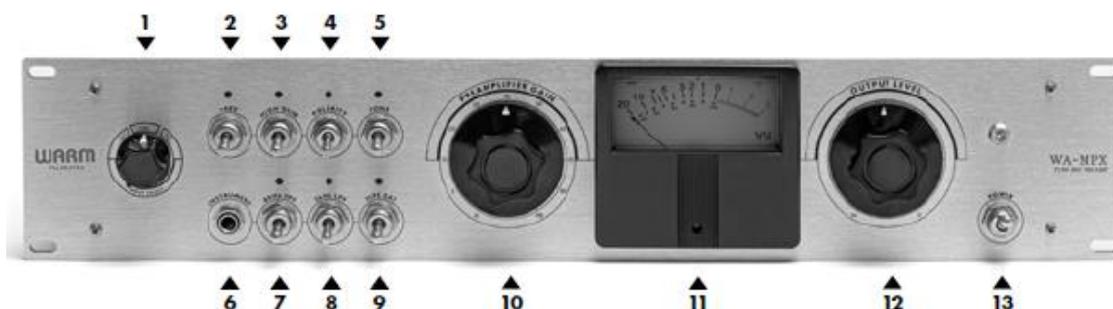
WA-MPX プリアンプは、チャンネルごとにプレミアム **12AX7** 真空管 **2** 本とプレミアム **12AU7** 真空管 **1** 本を使用しています。これらの真空管とカスタムワインドされたラージコアを持つ **CineMag** トランスにより、パワフルなサウンドを提供する **90dB** ゲイン、**300V** のプリアンプチャンネルを作り出します。この真空管の持つ独特な温かみは、エルビス・プレスリー、カート・コバーン、ビング・クロスビー、レス・ポール、ナット・キング・コール、ロイ・オービソンなどのアーティストのサウンドを確立し、現在もエリート・サウンド・エンジニアが時代を超えた録音を行うために使用し続けています。WA-MPX プリアンプは、テキサス州オースティンの Warm Audio 本社で、手作業で組み立てられ、すべて入念なテストが行われています。

# 各部の名称

## フロントパネル

### 注意

各 LED は、対応するスイッチがオンになると点灯します。



#### 1. 入力選択

マイク、楽器、ラインレベルの入力を選択するスイッチです。

#### 2. +48V

コンデンサーマイクや、ファンタム電源を必要とするデバイスに、XLR 入力から電源を供給します。この電源は安定したレベルで供給され、音質の劣化を防ぎます。

#### 3. ハイゲインスイッチ

リボンマイクやダイナミックマイク、低出力マイクや小音量ソース用に、チャンネル回路内の 3 本目の真空管に 20dB (70dB から 90dB) のクリーンゲインを追加するスイッチです。

#### 4. 極性スイッチ

信号の極性を反転させるスイッチです。複数のマイクを使用して録音する場合、マイク間の位相キャンセルに対処するために極性スイッチを使用します。

#### 5. トーンスイッチ

このスイッチは、入力トランスの構成を 1:9 (ステップアップ) のターン比から、より急な 1:18 (ステップアップ) のターン比に変更し、入力トランスからより高度なカラーレーションとインパクトを引き出します。WA-MPX の入力インピーダンスは 150Ω です。解除すると 600Ω になります。この機能により、ほとんどのマイクで顕著な音色の変化が得られます。コンデンサーマイクやダイナミックマイクには 600 オーム、ダイナミックマイクやリボンマイクには 150 オームのインピーダンス設定をおすすめします。ほとんどのリスナーは、スイッチ OFF の設定をよりオープンでナチュラルに、また、スイッチ ON の設定をよりパンチがあり、

アグレッシブで太く感じると思います。録音に最適なトーンを見つけるために、すべてのソースで両方の設定を試してみることを強くお勧めします。すべてにおいて言えることですが、どのような状況でどの設定を使用するかは、最終的にはあなたの耳で判断してください。

#### 6. TS 楽器入力

フロントパネルにある楽器入力には、アコースティック・ギター、エレキ・ギター、ベース、キーボード、シンセ、ドラム・マシンなど、様々な楽器を接続できます。

#### 7. ハイパスフィルター

80Hz 以下の周波数を除去し、不要な低音ノイズを抑制します。

#### 8. 2kHz ローパスフィルター

2kHz 以上の周波数を除去し、よりパンチのあるフォーカスされた中域を実現します。

#### 9. テープ・サチュレーション・コントロール

すでに温かい音を持つ真空管に専用のディスクリートアナログコンポーネント回路を追加し、テープスタイルのサチュレーションを提供します。これにより、自然なコンプレッションとハーモニックディストーションが加わります。

#### 10. プリアンプゲイン

チャンネル回路にかかる真空管ゲインの量を調整します。

#### 11. VU メーター

チャンネルから出力される信号の音量を正確にモニターすることができます。

#### 12. 出力レベル

600Ω 出力のアッテネーターとして機能し、チャンネルから出力される信号を制御します。出力レベルは、増幅された信号が大きすぎないようにし、録音インターフェースやシグナルチェーンの次のデバイスの入力がオーバーロードしないようにします。また、プリアンプのゲインをよりハードにドライブできるため、様々な設定において、より幅広いカラーとトーンシェイピングを可能にします。

#### 13. 電源スイッチ

ユニットの電源を ON/OFF します。電源 ON の場合は LED が点灯します。電子機器の寿命を延ばすため、使用しないときはユニットの電源を OFF にしてください。

## バックパネル

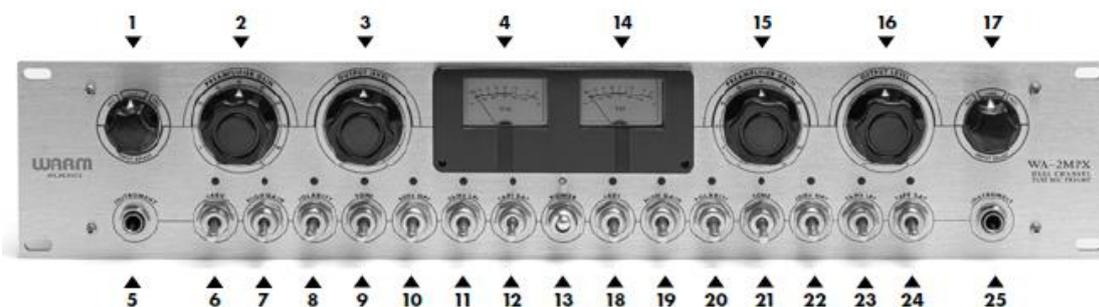


1. IEC AC 電源コネクタ  
付属の電源コードを接続してください。
2. 電圧スイッチ  
地域の電源要件に対応する正しい定格電圧(115V または 230V)を使用してください。
3. バランス・ライン出力(XLR & TRS)  
ライン出力はバランス XLR と TRS フォン接続が用意されています。
4. マイク / ライン入力  
本機の背面には、マイク (XLR) とライン (TRS) のバランス入力が用意されています。マイク入力には、ダイナミックマイク、コンデンサーマイク、リボンマイク用に設計されています。低レベルのマイクレベル信号を出力する他の楽器や機器も、この入力に接続できます。ライン入力には、ラインレベルの楽器、または一部のキーボード、電子楽器、音声出力レベルなどのラインレベルの信号を出力するソース用に設計されています。

# WA-2MPX

## 各部の名称

### フロントパネル「デュアルチャンネル」



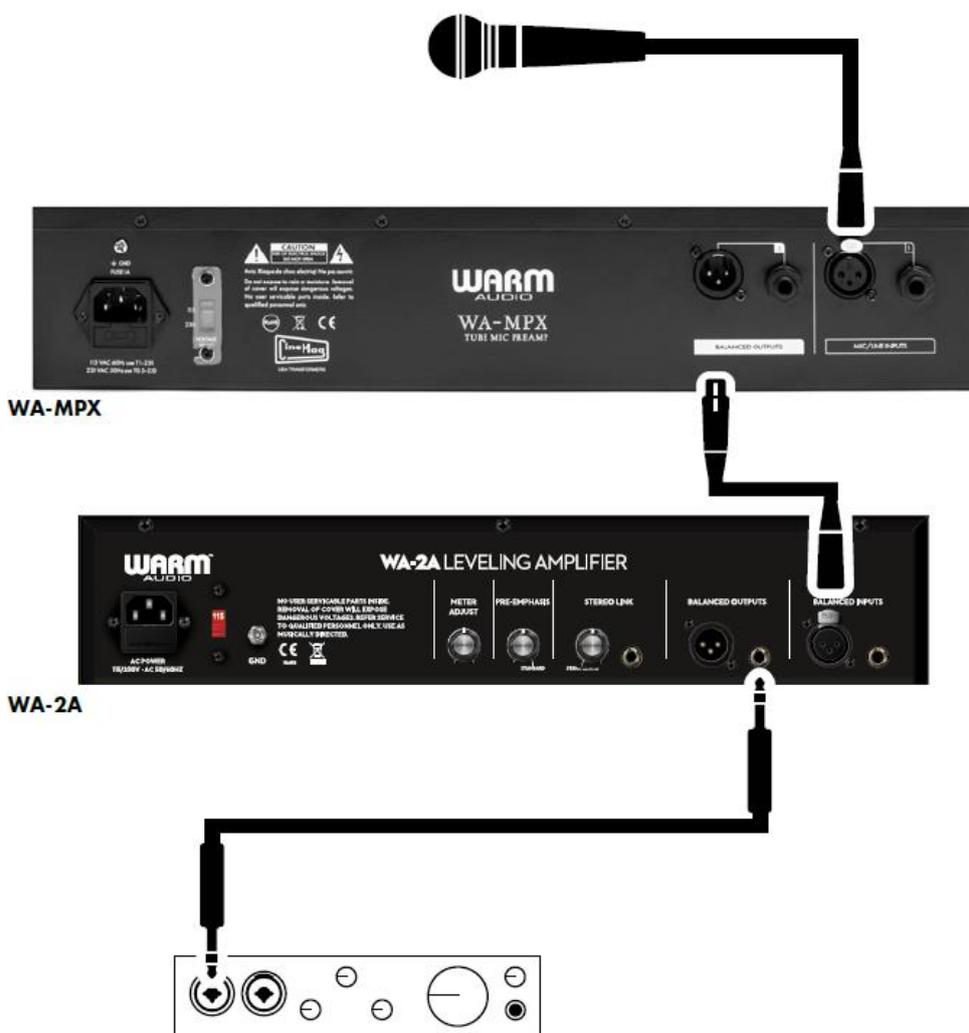
1. 入力選択スイッチ
2. プリアンプのゲイン
3. 出力レベル
4. VU メーター
5. TS 楽器入力
6. +48V スイッチ
7. ハイゲインスイッチ
8. 極性スイッチ
9. トーンスイッチ
10. 80Hz ハイパスフィルター
11. 2kHz ローパスフィルター
12. テープ・サチュレーション・コントロール
13. 電源スイッチ
14. 「Ch2」 VU メーター
15. 「Ch2」 プリアンプゲイン
16. 「Ch2」 出力レベル
17. 「Ch2」 入力セレクトスイッチ
18. 「Ch2」 +48V スイッチ
19. 「Ch2」 ハイゲインスイッチ
20. 「Ch2」 極性スイッチ
21. 「Ch2」 トーンスイッチ
22. 「Ch2」 80Hz ハイパスフィルター
23. 「Ch2」 2kHz ローパスフィルター
24. 「Ch2」 テープ・サチュレーション・コントロール
25. 「Ch2」 TS 楽器入力

## バックパネル



1. IEC AC 電源コネクタ  
付属の電源コードを接続してください。
2. 電圧スイッチ  
地域の電源要件に対応する正しい定格電圧(115Vまたは230V)を使用してください。
3. バランス・ライン出力(XLR & TRS)  
バランス XLR と TRS フォン接続が用意されています。
4. マイク / ライン入力  
本機の背面には、マイク (XLR) とライン (TRS) のバランス入力が用意されています。マイク入力は、ダイナミックマイク、コンデンサーマイク、リボンマイク用に設計されています。低レベルのマイクレベル信号を出力する他の楽器や機器も、この入力に接続できます。ライン入力は、ラインレベルの楽器、または一部のキーボード、電子楽器、音声出力レベルなどのラインレベルの信号を出力するソース用に設計されています。

## 接続

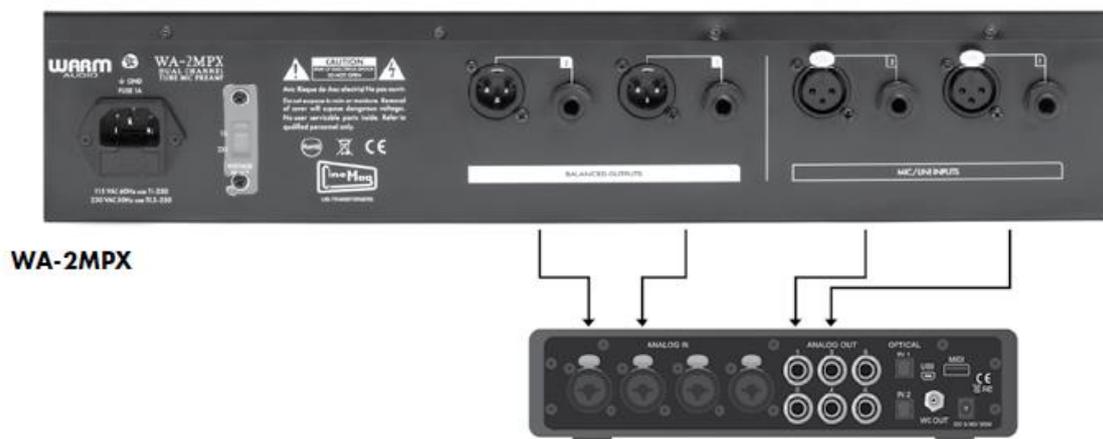


### レコーディング・インターフェース

この例では、マイクが WA-MPX 入力に接続され、バランス XLR パッチケーブルを介して WA-2A コンプレッサーに信号を送り、レコーディング・インターフェース/レコーダーのラインレベル入力に送られます。

注意：録音機器のマイクや楽器レベル入力ではなく、ラインレベル入力を使用してください。

## WA-2MPX サンプル接続図「デュアルチャンネル」



レコーディング・インターフェースを使用して、ステレオミックスにアナログ・サチュレーションを追加します。

ステレオ出力を高品質なディスクリットアナログ機器に通すと、最終ミックスやマスターにアナログの色彩を加えられます。

オーディオ信号を録音インターフェースのステレオアウトから WA-2MPX の入力に接続し、次に WA-2MPX の出力を録音インターフェースのステレオ入力に接続します。これにより、信号は WA-2MPX 内のディスクリットアナログコンポーネントを通過します。

テープ・サチュレーション・スイッチをオンにして、コンプレッサーと、サチュレーション（ハーモニック・ディストーション）をかけ、トーン・フィルターを変更することで、テープ時代のアナログ・サウンドをさらに楽しむことができます！

### 注意：

WA-2MPX の OUTPUTS はインターフェースの INPUTS に、INPUTS はインターフェースの OUTPUTS に接続されます。この方法でオーディオをルーティングするには、2 系統の INPUTS と 2 系統の QUTPUTS が必要です。

# 仕様

## 注意

記載されている仕様と部品数は、各「チャンネル」共通です。

- テープ時代の真空管マイクプリアンプを忠実に再現
- チャンネルあたり 3つの真空管を使用した完全ディスクリート、手配線による究極のアナログ・トーン
- 選択可能なテープ・サチュレーション（ハーモニック・ディストーションとナチュラル・コンプレッションを付加）
- チャンネルあたり 90dB のアナログ・チューブ・ゲイン
- カスタムワインド、ラージコア CineMag USA トランス搭載
- マイク入力：600Ω トランス（定格 6000Ω）
- マイク入力（Tone）：150Ω トランス（定格 1500Ω）
- プレミアム 12AX7 x 2、1ZAU7 x 1 チューブ/チャンネル
- 600Ω 出力アッテネーター搭載
- ハイゲインコントロールを ON にして 20dB（70dB から 90dB）のクリーンゲインを追加、低出力マイクにも対応
- + 48、ファンタム電源と極性スイッチ搭載
- 入力トランスのインピーダンスを変更し、より鮮明なアナログ色を追加する伝統的な "Warm Audio Tone Control" 搭載
- + 80Hz ハイパスフィルター搭載
- + 2kHz ローパスフィルターによりプリアンプのパワーと温かみを中域に集中させ、パンチと明瞭さを追加。
- 入力：XLR マイク、TS 楽器、TRS ライン入力を用意
- 出力：XLR/TRS ライン出力を用意
- VU メーターによるレベル表示
- 周波数特性：20Hz-20kHz
- アルミニウム・フェイスプレート、スチール・シャーシ、ヴィンテージ・ベークライトスタイル・ノブ搭載